

# 響け念仏 北の大地に 本願寺帯広別院だより

2023  
(令和5)年  
10月号



〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL:0155(23)3720  
FAX:0155(21)4989 発行人:輪番・仲尾信博

別院ホームページ  
http://www.betsuin.jp/→

「御伝鈔」下巻 第七段「廟堂創立」  
親鸞聖人がご往生されて10年後の文永9(1272)年、京都東山の西側のふもと、鳥辺野の北、大谷(おおたに)にあつた聖人のお墓を吉水(よしみず)の北、今の浄土宗知恩院(ちおんいん)の北あたりに改葬して、お堂を建て、聖人のありし日の木像が安置された。このお堂が本願寺の起源で、この木像こそ今の御影堂(ごえいどう)に安置されている御真影(ごしんねい)だと伝わっている。



(帯広別院所蔵)

## 報恩講 11月13日(月)～16日(木)

### ◆報恩講ご講師の紹介◆



本願寺派布教使  
義本弘導師  
(大阪府)

### 講題 ジェンガで気づいたこと

子どもたちがジェンガというゲームをしていました。それはバランスゲームの1種で、小さい立方体のブロックを積み上げて、順番に1本ずつブロックを抜き取って、それを一番上に乗せてゆき、崩れてしまった人が負けというものです。順番が来た子は、抜けそうなブロックを探しています。周りの子は、「そのブロックは抜けそうぞ」とか「それは必要ないよ」と口々に、はやし立てています。

どうも気になって仕方ないのが、抜けそうなブロックを「それは必要がない」とか「役に立っていない」という言葉でした。私に向いて言われたらどうだろうかと考えてしまいました。必要ない、役に立たないなどの言葉は、私の存在を奪う言葉ではないだろうか。そう思うと辛く響くのです。ですが、そのブロックをまた上に置くということは、必要なものなのでしょう。そして、タワーを崩さないようにバランスを保つ役に立っているのです。どれ一つ欠けてもタワーは成り立たないのです。そうです。私もそうだったのです。あなたが必要であり、役に立っているんだと私の存在と価値を与えていきたくて願いを立てられ、その願いを完成され、必ずあなたの居場所を与えると私を喚び通しに喚んでくださる仏さまが南無阿彌陀仏なのです。

## 10月のご案内

月例布教 1日～3日13時半(本堂)  
秋季永代経法要 14日～16日13時(本堂)

## 11月のご案内

報恩講 13日～16日(日程は次頁をご覧ください)

11月13日～20日の月参りはお休みさせていただきます。中陰・祥月(本命日)はお伺いします。

## パークゴルフ大会開催

9月7日(木)に十勝川公園パークゴルフ場にて、仏教壮年会主催第23回「帯広別院パークゴルフ大会」を開催しました。連日の豪雨によりこの日も雨が心配されましたが、数日ぶりに朝から快晴。爽やかなパークゴルフ日和となりました。  
参加者27名。なかには初めての方もおりましたが、パークゴルフは



晴れ渡ったパークゴルフ場に笑顔がひろがる

初心者も始めやすく幅広い年代の人が楽しめるため、大会がはじまってしばらくすると、どなたもベテラン選手のように悠々とプレーされていました。  
別院のご門徒どうしても初めて顔をあわせる方々もあり、新たな交流が生まれて、皆さん楽しい時間を過ごされました。  
来年も開催しますので、どうぞお楽しみに!

## 本堂建物補修工事

### 仮設足場が完成

本堂の塗装工事はじまる  
猛暑の影響で日中の作業が進まず、少々の遅れが生じていましたが、工事関係者の努力により当初計画していた通り工事が進んできました。  
9月中旬には仮設足場が完成し、いよいよ本堂の塗装工事に入ります



た。最初に軒裏天井の塗装に着手しました。終始上を向いての大変な作業となりました。  
今後は、壁面や高所での作業となる屋根の塗装に取りかかります。



せまい所、高い所での作業が続く

## 墓 股 かえるまた

墓股はお寺などの社寺建築に用いられる特徴的な装飾部材で、屋根の重みを支えるために梁や桁などの横材に設置され、カエルが股を開いたような形をしているのでこう呼ばれたようです。◆古くは一枚の厚い板から造られていましたが、平安時代後期以降は技術が進歩して、動物や植物などさまざまな彫刻が施され、装飾性が重視されました。◆帯広別院の本堂には、木造彫刻の墓股と、外部にはコンクリート製のものも置かれています。昭和初期の本堂建立当時、火災に備えるため、コンクリートで彫刻文様を造られた職人さんのご苦労に、頭がさがります。(仲尾)



向拝のコンクリート製の墓股

自他ともにたい  
せつな言葉紹介  
人我兼利 じんがけんり



# 令和5年 帯広別院 報恩講

## 11月13日(月)～16日(木) 日程表

|                   |       |         |               |
|-------------------|-------|---------|---------------|
| <b>13日(月)</b>     | 速夜法要  | 午後1時30分 | 布教1席          |
| <b>14日(火)</b>     | 日中法要  | 午前10時   | 布教2席          |
|                   | 速夜法要  | 午後1時30分 | 布教2席          |
|                   | 初夜法要  | 午後4時    | 御伝鈔上巻拝読後、布教1席 |
| <b>15日(水)</b>     | 日中法要  | 午前10時   | 布教2席          |
|                   | 大速夜法要 | 午後1時30分 | 布教2席          |
|                   | 初夜法要  | 午後4時    | 御伝鈔下巻拝読後、布教1席 |
| <b>16日(木)</b>     | お 晨 朝 | 午前6時30分 | 布教1席          |
|                   | 満日中法要 | 午前10時   | 布教1席          |
| 布教・義本弘導師(本願寺派布教使) |       |         |               |

帯広別院では親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦勞を通じて阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく報恩講をおつとめします。

今年は工事中のため駐車場がせまくなっておりますので、ご注意ください。なお、14日・15日のお昼は、パンなどの軽食をご用意いたします。

### ご法話



## 御恩報謝のお念仏

文・渡邊了海

帯広別院では毎年11月に宗祖親鸞聖人に報恩謝徳するための報恩講が勤まります。この法要は、浄土真宗のご門徒が一年で一番大切にしてきた仏事といえます。報恩講の報恩には文字通り、恩に報いるという意味があります。私たちにはいろんな恩があり、ひとつずつが大切な恩ですが、報恩講の恩とは、煩惱具足の凡夫といわれるように、すべての煩惱を身に備え、しかも時々迷うのではなく常に惑いの中にある私を、この身のまま無条件に救い取ってください。阿弥陀さまの本願念仏の教えを明らかにしてください。親鸞聖人へのご恩です。その親鸞聖人のご苦勞を偲ぶとともに、尊いご恩にお礼を申し、何としても報わずにはおれない、これが報恩の意味です。また、報恩のあとに講とあり、これは集まりを意味する言葉です。浄土真宗のご門徒の方々は昔からお念仏の教えを聞く集まりをもち、お互いに教えに出遇えたよろこびを語り合っていました。現代でも全国各地に、それを継承する「〇〇講」という集まりがあります。

いま私が念仏の教えに出遇うことができるのは、今日まで尊いお念仏の教えを受け継ぎ伝えてくださった先達のお蔭さまでですから、報恩講には併せてその方々へのご恩に報いるようにしたいものです。

報恩講はまさしくそのような親鸞さまとその教えに出遇わせていただく尊いご縁です。報恩講をぜひ、大切にしてくださいと思います。

## 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

### 帯広にも平和の鐘ひびく

本願寺派では1981(昭和56)年から毎年9月18日に、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都)で「全戦没者追悼法要」をお勤めしています。



別院でも平和の鐘をついた

この法要はまた、日本の侵略戦争に協力した宗門のあやまちを反省し、慚愧の思いをもって、戦争のない世界を築くという願いのもと、平和への誓いを新たにするに他なりません。法要に際しては、恒久平和への願いを新たにするため平和宣言を行い、平和の鐘を撞きます。

帯広別院でも千鳥ヶ淵と同時刻、9月18日(月・祝)の13時15分にご門徒と一緒に平和の鐘を撞きました。今後も非戦平和の取り組みを進めていきます。

### 旧聖徳講の報恩講、北宝来会館でおつとめします

音更町宝来地区で1921(大正10)年、講員27名によって聖徳太子1300年忌を記念した聖徳講が開講されました。その後100年の長きにわたり、聖徳講説教所の北宝来会館は地域の念仏道場として心の拠り所となり、受け継がれてきました。しかし2016(平成28)年、講員減少などにより、やむなく解散しました。

この度、10月22日(日)午後1時30分から、その北宝来会館において報恩講をお勤めします。どうぞ皆さんのお参りをお待ちしております。

北宝来会館：音更町宝来北1条2丁目2-5



北宝来会館

## 10月 オススメの一冊

### 『マンガ仏事入門』

作：岡橋徹栄 画：広中健次  
本願寺出版社刊/A5判208頁/880円(税込)

「私の宗派ってなんだっけ? どういう宗派だろう?」「ご命日が近づいてきたけど、法事はどうしたらいいのだろう?」といった疑問をもつことはないですか。そしてこういった疑問をもっている、なかなか聞くことができない方も多いのではないのでしょうか。この本は以前に雑誌「大乘」(本願寺出版社)に掲載されていた作品で、大乘寺の住職の息子である表紙の男子の子ッ大ちゃんや住職が、そういった疑問に分かりやすく答えてくれます。マンガだからこそ、クスクスと笑いながら浄土真宗について理解ができ、お子さんやお孫さんとの話のきっかけもできる一冊になると思います。



※表紙デザインは変更の可能性あります

きる一冊になると思います。(松原)